はい。君のスマホにもインストールしておいたよ。

サンキュー。

これで僕がいなくても一人で使えるでしょ？

そうか。ついにお前…。

うん。

でもね。最後に僕も知りたいんだ。

…その…女性の快感ってのを。

この身体はほら…色々と問題あるし。

綺麗なままお返ししたいしね。

だからお願いなんだけど…。

うーん。
あの子がいいな。
キラキラ
ククク。
お前はホント趣味がわかりやすいなー。
良いでしょー別に。
トン
じゃあいくぜ。
ガクッ
おっと。

大丈夫だよ。ママ。

ママ!?

今、奈々には擬似的な人格が入っているの。

つまり怪しまれないよう親子を演じろと？

うん！

なるほど。空っぽになった人間の中に擬似的に魂をいれて

自然に振る舞うように急に倒れたら騒ぎになるからな。

なっているのか…。

できる限りリスクを低減したいあいつらしい発想だが…

こんなの作れるって凄すぎだろ。

僕がこんなに他人から注目されるなんて。
羨望・感激・夢中
これらの感情が僕に対して向けられているんだ…。
あぁ。なんて素晴らしい光景。
これが強者が見る世界なんだね…。
わシャ
わシャ
え？嘘っ？こんな堂々と？

そこまでして見たいものなの？

まぁいいよ。

減るもんじゃないし。見せたげるよ。

ケッ

おおっ！

単純だなぁ。男って。

えっ？ちょっと！

なんで私勝手に？

あーもう。元の魂消し忘れてるよ。

ホント適当なんだから…。

どういう事!?

他のポーズお願いします！
ええっ？
そんな僕どうしたら…
えと…その…
あの…あ…
もじ
もじ
このキャラのこともよくわからないし
なんか初々しいでござるな。
いつもの咲ちゃんも良いけど
これはこれで…

咲ちゃん
もうすこし
こう、股を…。
そうそう。
それでこう、裾を
は、はいっ！
こうですか？
おおー。
ああ…。
素晴らしい…。
何をしても
肯定されるなんて！
夢のような
環境だぁ…
ちょっとバカ！
何やってんのよ！
でも、
ちょっとうざいなぁ…。

サービスしすぎだっての！
カシャ
カシャ
一緒に撮っても良いでござるか？
い…良いですよ…はい…。
断れるわけ無いじゃん！
僕、お願いされてるのに…
うらやま！俺も！
バカ！
ひゃっ！
そんな事してたら…っ

あ…あの…

咲ちゃん。どうしたでござる？

いや、えと…

その…

クソが！言わんこっちゃねぇ！

どうしたら良いんだ！？

んごー…

…っ

はっ！

って

まだあいつこんな事してるのか！

…ったくしゃーねぇな。

こんな行為をする事自体初めてだし。
しかも、異性の体で。
でも、ここで勇気出さなきゃ。
やらなきゃ。
何のためにこの子の身体を乗っ取ったのか…

嫌ならそう言えば良いじゃん。
言わないって事は

ろろろ!!
本当はしたいんでしょ？
な、誰だこの人、急に…
ハ？…

手伝ってやるよ。相棒。

誰が奈々ちゃんを監視するんだよ。

この子の魂も消してないし！

しどしど

え？あ、すまん。

でも、心強い。

みんなも見たいよねぇ。

ハーッ！！

え？

ホント君ってやつは…

や、優しい…。
さっきの男とは全く違う…
アッ
ん
ああっ
安心感に包まれて満たされてく…
ピクッ
ピクッ
そう。嬉しいわ。
そうやって私に委ねなさい。
身も心も…。
ザワ
ザワ
んぅ
凄い事になってるぞ！

ふふ。濡れてきた。
みんなに見られるのがそんなに嬉しいのかしら？
ちゅぷ
ちゅぷ
あっ…そんな…
み、見ないでぇ…
嘘ばっかり。本当はみんなに見られながらイキたい癖に…
はっ…う…言わないで…
ふふ。カワイイ。
そろそろ良いかな？
そこの君！
お、俺すか？

特別にこの子のおまんこ使わせてあげる。

ドキドキ

お、俺なんかでいいんっすか。

じゃあ、咲様。お言葉に甘えて。

やめて…

うん、きて。

ズリ

ズボッ

ああああっ！

頼むから、やめてよ…

ドキ

ドキ

ふぅ。君が性格悪くて良かったよ。

心置きなく汚せる。

下腹部に異物感が…

す…すごっ…

あっ♥

これが挿入されてる感覚なんだ…♥

ビク

ビクッ

ああ♥

嘘でしょ？

本当に…

痛い…でも、なんだろう…

あっ♥

パン

パン

こんなヤツに私の初めてが…

ズプッ

んっ♥

ハッ

ハッ

アッ

ん

よくわからないけど興奮するっ！

コリ

コリ

ああそうか…
皆に注目されて必要とされて
咲様の中、凄くいいです…
俺のめっちゃきゅうきゅうに咥え込んで
ズッ
ズッ
ズッ
んぅ
あ、ありがと…う、嬉しいっ♥
満たされた承認欲求

そして女の子の身体で
しかも初めてのセックスが野外っていう
んっ♥
ううっ
あっ♥
はっ♥
ああ♡
アブノーマルな環境がそうさせるんだね！

いいっ♥

ふあああっ！

気持ちいいよぉ♥

ア

あぁぁっ

ガク

ガク

ククク。えらく乱れてるじゃないか。お前らしくない。

だってぇ、声出した方がより高まってくるんだもん…

僕じゃないから何をしても恥ずかしくないし！

そう。自分の身体じゃないんだ。

可愛い女の子の身体だから…自信が持てる

等身大で今の状況を楽しめるんだ♥

もうやめて！
ねぇ…もう…
あん
ふふ…ふふふ。
んっ♡

なんだその笑みは。
あっ…いや…っ
あん
君がなんで取っ替え引っ替え女の子の身体を楽しんでたのか
んっ♡

ちょっとわかった気がする…んっ…♥
はっ
はっ
ほう。それは嬉しいね。

んっ♥
ううっ…
もうやめて…
やめてよ…
んぅ
悪いけど
それは無理なんだ
んあぁっ
咲さん、
やばいっ！
俺っ！
いいよぉ♥
膣内に
出してっ♥
ハッ
ハッ
いいんっすか！
俺で！
うん。
君がいい♥
あっ♥
ズッ
お願い！
それだけは！
ああ♥
その為に君の身体を
借りたんだからね♥

ありがとう
ございます！
咲様っ！
あ゛あ゛あっ
びくびく
気持ち
いいよぉ～♥
ぴゅ～
ぴゅ
いやあああっ！
あぁ…
すごっ…
みんなに僕の痴態を
みられてるっ
なんて快楽なんだ…
コポッ
あっ
ぴくっぴくっ
あっ
これは
癖になりそう…♥

どうだったよ？

うん。すごかったよ。予想以上。

癖になるのも理解できるよ。

なら、このまま過ごすか？

うーん。それはないかな。

確かに女性の快楽は凄いし

承認欲求も満たされる。

でもね。

いずれはこの悦びにも慣れてしまうだろうし…

体が違っても僕は僕だ。

僕は僕が嫌いだから。

…そうか。

じゃあいいかな。

僕からの最後のお願い

聞いてくれるかい？

あの人でいいんだな？

うん。

わかってると思うがおそらくお前の自我はなくなる。

つまりお前がお前だった記憶を失う事になるんだ。

……本当にいいんだな？

うん。そうじゃなきゃ困る。

僕は僕じゃない女の子として楽しく穏やかで幸せな人生を送りたい。ただそれだけなんだ……。

はあ？お前正気か？
胎児に魂を移すだと？そんな事をしたらお前自身が！
うん。
僕は僕じゃない誰かとしてもう一度人生をやり直したい。
美少女に生まれる事が約束された遺伝子良好で裕福な家庭環境
当たり確定の親ガチャの娘として、ね。
俺とは違う方向で相当拗らせてるなお前。
ははっ…
初めて聞いた時は驚いたな。
だがまぁ、楽しい時間ではあったが。
うん。僕も…最期に楽しい時間を過ごせた。
だから…

ちょっと寂しい気もしてるんだ。

だったらこのまま……

でも、僕はやっぱり僕のことが嫌いだからさ。

……。

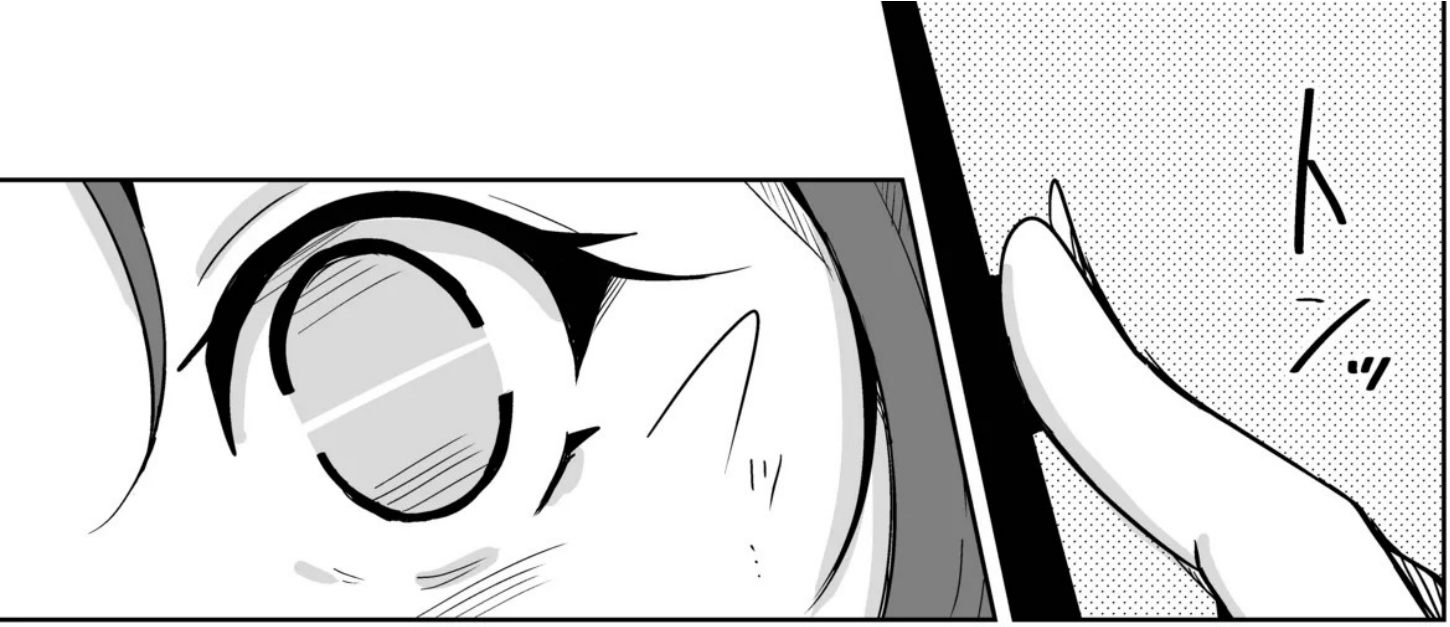
あ、そうそう。奈々ちゃんの身体元に戻してあげてね。

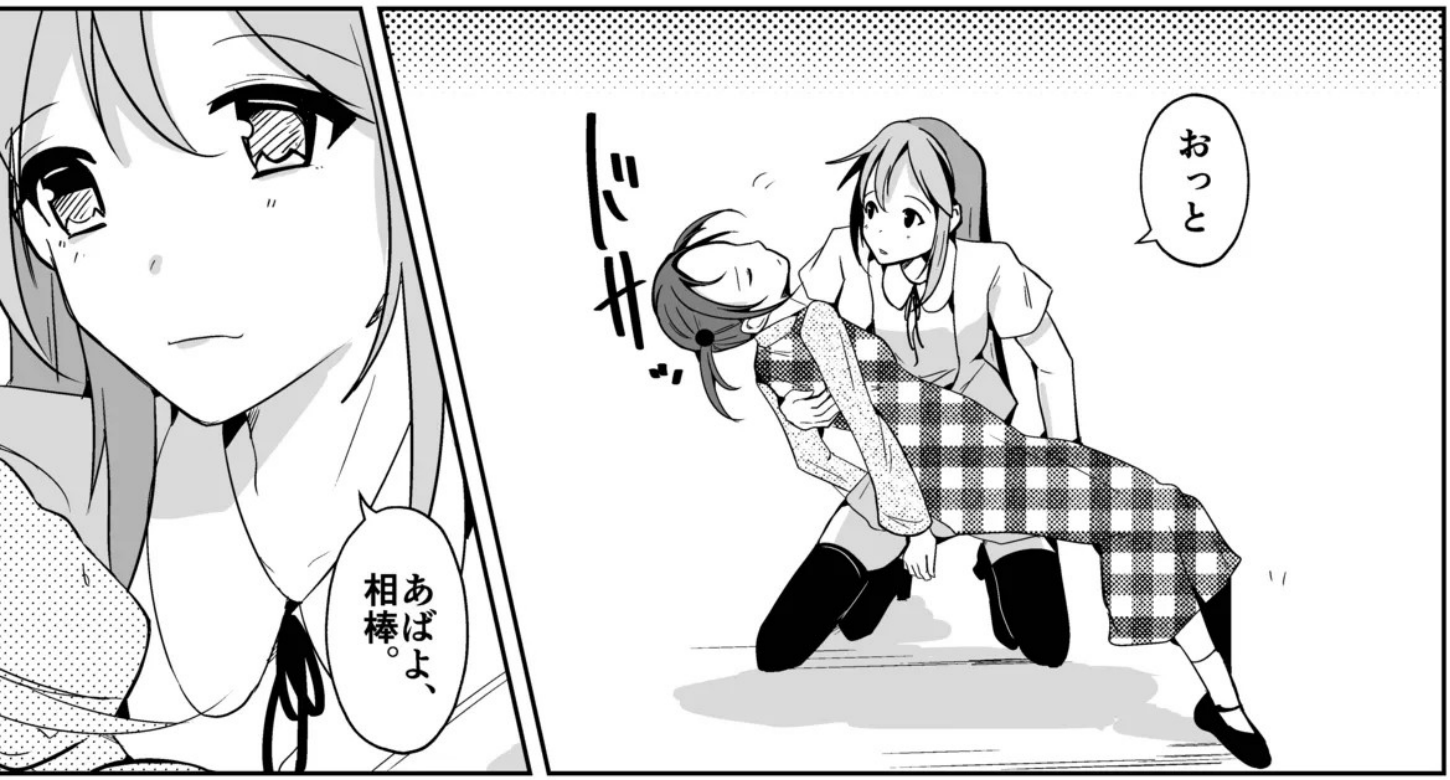
ああ、わかったよ。約束する。

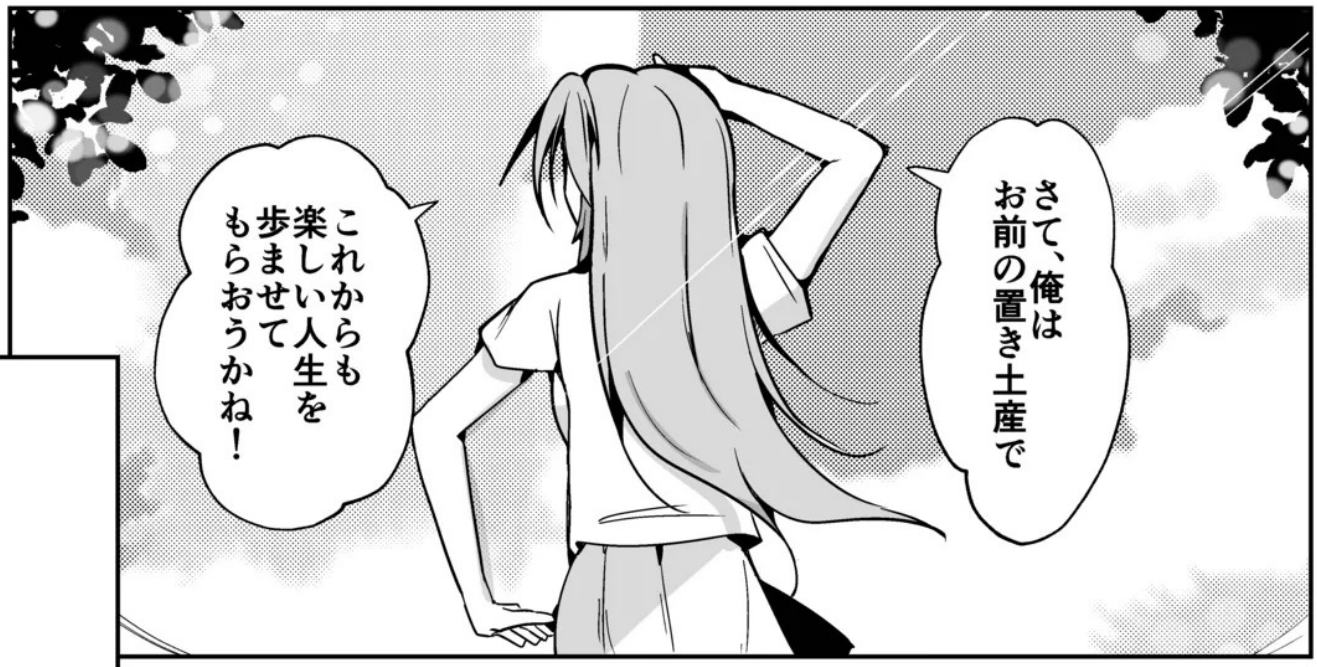
じゃあ行くぞ。

「＋」

……うん。いつでも。


トンッ


おっと
ドサッ
あばよ、相棒。


さて、俺はお前の置き土産で
これからも楽しい人生を歩ませてもらおうかね！

だが、女性の快楽を
超えるものは
この世に存在しなかった。

だから俺は
あらゆる女の身体を
楽しんだ。

これこそが
最高の快楽であると
悟ったからだ。

この能力を俺だけが独占しているのかと思うとまさに自分がこの世の王になった気分だった。

輝かしい人生を歩む人間の美味しい部分だけをひたすらつまみ食いする人生。

手に入らないものなんてない。欲しいならその人物ごと手に入れれば良いのだからな。

だが不思議なものだ。

自分が満たされると独り占めしたいと言う気持ちが薄らいでいった。

そして、かつての俺のような人間に悦びを分け与えたいと思うようになっていた。

何じろじろ見てやがるっ！

あ、ごめんなさい。本当にそっくりだなって思って。

な、なにが……

…かつての私に。

う、嘘つくんじゃねぇ！

どうせ俺みたいな人間をからかってるだけだろ？

他人になれるアプリなんてそんな夢みたいな話っ！

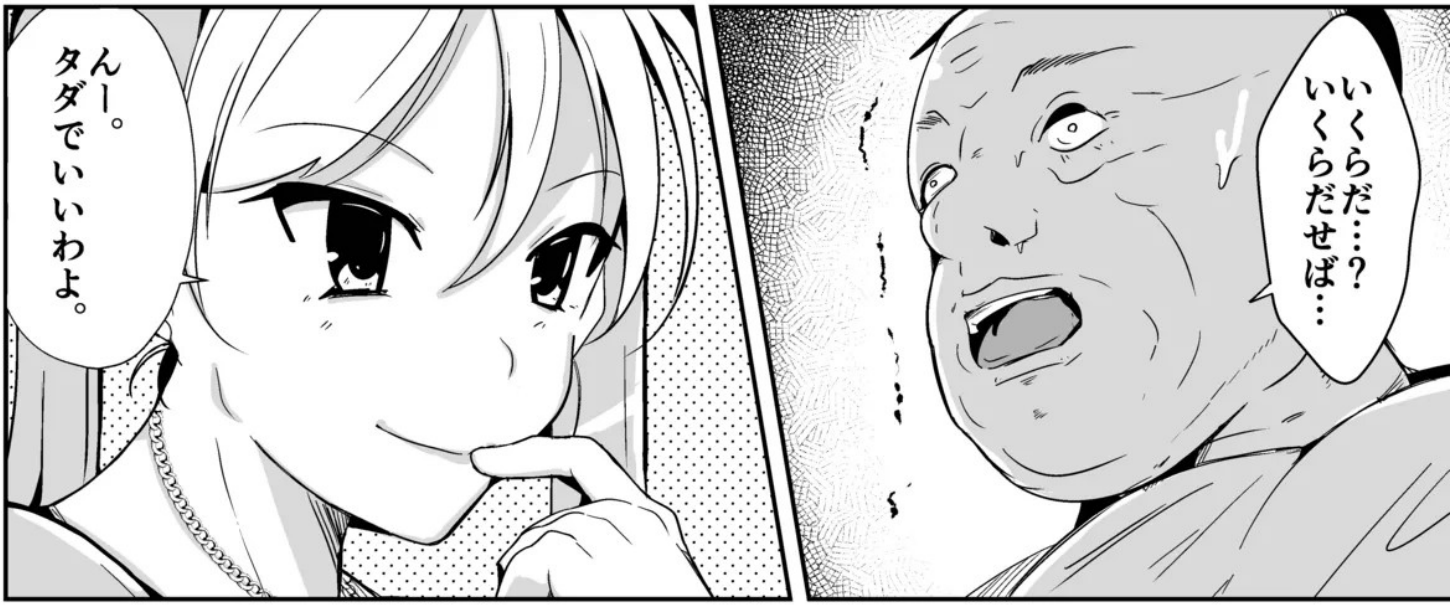
証拠

お待たせしました。

見せようか？

ドクン
えっ？
う、そだろ？
ぐいっ

ほ、ホンモノなのか……？
だから最初からそう言ってるじゃない。


いくらだ…？いくらだせば…
んー。タダでいいわよ。

はぁ？
ど……どういうつもりだっ…？

どうもなにもないわ。
ただの気まぐれよ。

いるんでしょ？なりたい子が。

……お気に入りの女の子が。

…あぁ。

じゃあ、なるといいわ。

データ、転送しておいたから。

あ、そうそう。マニュアルとないから操作は適当に触って覚えてね。

トン

じゃあね～！

ふひひ。

真琴〜一緒に帰らない。
ごめん！今日部活でさ！

そっかー。残念〜。
ゴメンね。
いいよ〜。あ、そうそう。例のストーカー気をつけなよー。
カタ
カタ
ありがと。気をつけるね！

バイバイ！
ふひひ。楽しみだ。
もうすぐこの身体が僕のものに。

NEXT…… 魂管理アプリ